



































チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・「地域のための建設業」を経営理念に掲げ、朝礼や会議で共有し、経営理念を踏まえ仕事に取り組んでいる。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・朝礼や会議で法令遵守の重要性を共有し、取り組んでいる。 ・アルコールチェッカーを使用し、飲酒運転撲滅に取り組むなどの法令遵守に取り組んでいる。															16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・協力会社へ下請取引に関する不公正な取引方法の認定基準を制定し、事前会議でチェックしている。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・自然豊かな環境が、工事により生じる環境の変化を最小限に抑えるため、現場には現場代理人を責任者に任命している。河川汚濁対策、建設発生土の適正な処分を実施している。現場で問題が生じた場合は速やかに統括責任者である社長に連絡している。その後発注者に相談し、回答を得たものを朝礼時に社員全体に周知している。															16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・発注の際には、他社の知的財産権の侵害を行わないよう、事前に担当者で話し合いを行っている。 ・契約書等の書類関係は事務責任者、各工事の現場データは現場代理人の許可なく閲覧禁止にしている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・パソコン環境等の責任者を配置し、社員の個人データは特定者のみで取り扱い、関係書類は適切に保管管理をしている。 ・会社及び従業員の個人情報は施錠できる場所で保管している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・現場ミーティングを行い、周辺住民への説明会を実施し、お客様の声を聞き、苦情が出た場合は素早く対処している。 ・課題や問題は、行政と打ち合わせし適切に対応している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・取引先の活動に関心をもち、コミュニケーションに取り組んでいる。 ・工事着手前、取引先と密に話し合い現場状況を把握し、環境維持に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●										8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、昇進、登用、福利厚生など、性別年齢の差別なく行っている。 ・現場責任者から社員同士の問題がないか定期的に報告を受けている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労災事故を無くすため、朝礼で呼びかけを行っている。 ・月一回の安全パトロールを実施している。 ・責任者が研修に参加し、新しい情報等は社内で共有している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」に沿った体制の整備・運営を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・終業時刻の厳守、休日や遅出早退、欠勤への柔軟な対応をとっている。 ・熱中症対策としてWBGTが高い職場では適切な休憩時間を確保、残業はせず、社員の体調管理に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修への必要経費の支給により、CPDS対応研修の受講や、建設機械及び施工管理技士の資格の取得を奨励している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断の費用を会社が全額負担している。 ・希望者には行政管轄の生活習慣病見直しの指導を受けられる体制を取っている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・高齢者の定年後の雇用延長を行っている。 ・女性のいる現場での女性用仮設トイレ・更衣室の設置を推奨している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・事務所でのソーシャルディスタンス及び換気の実施に取り組んでいる。 ・取引先、研修講習等は、ウェブ会議、オンライン講習を導入している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12					

チャレンジ項目記入数

8


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物や再資源化資源はマニフェスト伝票、建設副産物や発生土の管理を効率化するためのシステムに登録し、建設発生土は新しく施工された盛土規制法にも対応している取引先と契約して、産業廃棄物の管理を徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・蛍光灯使用からLEDライトに交換している。 ・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出し、削減に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてCO2排出量を算出しており、昨年はガソリン12, 347t-CO2、軽油38, 738t-CO2、電気2, 283t-CO2。年2%のCO2 削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事務用品はエコマーク表記の商品を推進している。 ・社員に対して、現場事務所にイラストを取り入れた廃プラや、レジ袋の使用削減を推奨するポスターを作り掲示している。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・一般廃棄物は事務所で適正に分別を実施し、再生化に取り組んでいる。 ・紙の裏紙利用の徹底及びペーパーレス化に取り組んでいる。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・使用する蛇口に節水コマを取り付け節水に取り組んでいる。 ・水の出しっぱなしを見かけたら、「STOP」の声かけを徹底している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務用品注文の際は、エコマークの付いている商品を探し購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・現場事務所周辺にプランターを設置し花で飾るようにしている。 ・農地水活動に参加し地域の緑資源の保全活動に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・講習参加の際は他の社員と乗り合わせて講習会場に行くよう取り組んでいる。 ・車購入時はハイブリッド車を購入。今後は電気自動車も検討していきたい。									9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 有限会社 康栄土木

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

チャレンジ項目記入数8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・提供するサービスの質を確保するため、担当者同士の意見交換を実施し発注者の意見を把握し、共有するようにしている。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・現場の看板は絵柄などを取り入れ、わかりやすい看板表記にて注意喚起を行っている。 ・現場の仮設トイレを地域の方に開放し、足腰が不自由な方でも利用できる様、洋式トイレを設置し、安心して使えるよう取り組んでいる。								9.1	10	11.7					17			
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・主要資材は県産材を優先的に使用している。			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・昨年応接室の改築を行い、天井や床、内装の木質化に取り組んでいる。							7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●					2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・清掃活動、除草活動、献血など積極的に参加している。 ・区長と連携を図り、地域災害箇所や災害危険箇所を把握し、速やかに対策ができる体制を整えている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・避難訓練を行い、災害時の避難行動計画を都度再確認している。 ・防災グッズを常備し社員に周知している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・社員が地域消防団に所属し、地域防災に貢献している。 ・降雨による土砂崩れや、積雪により集落が孤立してしまった際の災害救助を地元消防団と共に行い、救助要請があった時は速やかに人員、建設機械の貸与に協力している。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9			11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・毎年地元小学校を訪問して木工教室を開催し、子どもと共に木材を使用した作品を作りながら、林業の現状を知ってもらおうと同時に木のぬくもりに触れてもらい、林業に興味を持ってもらえるよう取り組んでいる。			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3